



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 セーレン株式会社

上場取引所 東

コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 勝木 知文

TEL 0776-35-2111

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	66,664	10.1	6,027	16.7	8,037	13.8	5,757	11.3
2023年3月期第2四半期	60,564	14.0	5,164	5.5	7,065	17.3	5,174	15.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 12,451百万円 (6.9%) 2023年3月期第2四半期 13,369百万円 (89.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	107.37	92.26
2023年3月期第2四半期	96.27	82.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	180,828	117,172	64.1	2,158.88
2023年3月期	167,795	105,785	62.3	1,951.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 115,899百万円 2023年3月期 104,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		23.00		23.00	46.00
2024年3月期		23.00			
2024年3月期(予想)				23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	5.8	13,300	3.7	15,500	1.0	11,100	0.7	206.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	64,633,646 株	2023年3月期	64,633,646 株
2024年3月期2Q	10,948,502 株	2023年3月期	11,070,927 株
2024年3月期2Q	53,622,280 株	2023年3月期2Q	53,750,577 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	9
(セグメント情報等).....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変わり、経済社会活動の正常化の動きが見られたものの、エネルギー及び原材料価格の高騰や急激な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高666億64百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益60億27百万円（同16.7%増）、経常利益80億37百万円（同13.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益57億57百万円（同11.3%増）となり、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも第2四半期として過去最高となりました。

[セグメント別の業績概況]

(車輛資材事業)

国内事業は、世界的な半導体不足の緩和や前年の上海ロックダウンによるサプライチェーン混乱からの反動により回復しました。エネルギー及び原材料価格の高騰があったものの、為替の影響や業務の効率化をはじめとする経費削減活動により増収・増益となりました。

海外事業（2023年1～6月）では、半導体不足や原材料価格・輸送費の高騰が落ち着くとともに、カーシートの受注増加や新規商権立ち上げがあったものの、中国における日系メーカーの販売不振の影響を大きく受けました。また、SEIREN Hungary Kft. では経費が先行していることから、増収・減益となりました。

車輛資材事業全体では、国内事業の回復がけん引し増収・増益となりました。

当事業の売上高は429億85百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益42億86百万円（同27.4%増）となりました。

(ハイファッション事業)

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。ファッションアパレルは、一部百貨店ブランドにおいてコロナ禍からの回復が見られたものの、スポーツアパレル、インナーアパレルはいずれも苦戦を強いられました。単体の売上は減少したものの、世聯美仕生活用品（上海）有限公司において中国国内の衣料事業が前年より伸びたことや、Saha Seiren Co., Ltd.においてアパレル事業の構造改善を行ったことにより、ハイファッション事業全体では減収・増益となりました。

当事業の売上高は104億24百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益5億88百万円（同86.9%増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

ゲーム機関連の新規商材が順調に推移したものの、モバイル端末向け商材の売上が減少しました。KBセーレン(株)においては、データセンター向けHDDワイピングクロス「ザヴィーナ」やケーブル用エンブラ繊維が伸び悩みました。その他、中国市況の悪化により繊維産業向け機械の受注が減少したこと等が影響し、エレクトロニクス事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は47億70百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は7億67百万円（同18.2%減）となりました。

(環境・生活資材事業)

ハウジング資材関連では環境対応商材が好調に推移したものの、住宅着工戸数減少の影響を受け苦戦しました。また、住生活資材関連ではコロナ禍において一時的に需要が高まった病院・介護向け製品の売上が伸び悩みました。一方、KBセーレン(株)においてはティーバッグ需要の回復がみられました。環境・生活資材事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は44億96百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は4億71百万円（同2.9%減）となりました。

(メディカル事業)

化粧品及びKBセーレン(株)の貼付材の売上が減少したものの、サポーター等の健康・医療資材が堅調に推移し、増収となりました。また、利益面ではエネルギー及び原材料価格高騰の影響が大きく、減益となりました。

当事業の売上高は35億49百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は4億3百万円（同27.0%減）となりました。

(その他の事業)

(株)ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業が堅調に推移したものの、セーレン商事(株)の保険代理業が好調であった前年同期の反動減となりました。

当事業の売上高は4億37百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は2億17百万円（同17.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して130億33百万円増加の1,808億28百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して101億41百万円の増加となりました。固定資産は、設備投資や、海外子会社の財務諸表の換算レートが円安になったことにより、有形固定資産が増加し、前連結会計年度末と比較して28億91百万円増加しました。負債の部は、支払手形及び買掛金の増加等により、16億46百万円増加し、636億56百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の変動や、利益剰余金の増加などにより、全体で113億86百万円増加し、1,171億72百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は394億48百万円となり、前連結会計年度末より53億6百万円増加しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、72億2百万円の収入（前年同期は39億34百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益80億50百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、18億70百万円の支出（前年同期は28億53百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出21億67百万円があった一方で、定期預金の減少3億23百万円があったことによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、22億98百万円の支出（前年同期は47億70百万円の支出）となりました。これは主に、借入金の返済による支出10億32百万円、配当金の支払による支出12億31百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界的なインフレや中国景気の減速、為替動向等、先行き不透明な要素があるものの、車輛資材事業の国内事業が回復していることや為替レートがプラスに影響する見込みから、2023年5月15日に公表しました通期の業績予想を上方修正いたします。エネルギー、原材料価格および物流費の高騰の影響を受けるものの、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高となる見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,782	43,764
受取手形、売掛金及び契約資産	33,075	37,145
有価証券	1,091	1,406
商品及び製品	13,618	13,169
仕掛品	4,313	4,106
原材料及び貯蔵品	7,291	7,393
その他	2,912	4,242
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	101,068	111,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,780	26,637
機械装置及び運搬具（純額）	11,718	13,313
工具、器具及び備品（純額）	489	500
土地	12,778	13,050
リース資産	36	13
建設仮勘定	6,363	2,396
有形固定資産合計	54,167	55,911
無形固定資産		
のれん	638	557
その他	2,464	3,137
無形固定資産合計	3,102	3,694
投資その他の資産		
その他	9,562	10,119
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	9,456	10,012
固定資産合計	66,726	69,618
資産合計	167,795	180,828
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,450	19,577
短期借入金	2,061	2,541
未払法人税等	1,702	1,922
賞与引当金	1,375	1,380
その他	7,717	7,974
流動負債合計	30,307	33,396
固定負債		
新株予約権付社債	15,240	15,195
長期借入金	8,563	7,050
役員退職慰労引当金	119	119
退職給付に係る負債	6,632	6,686
その他	1,146	1,208
固定負債合計	31,701	30,259
負債合計	62,009	63,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,807	16,876
利益剰余金	75,669	80,195
自己株式	△14,830	△14,664
株主資本合計	95,167	99,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,953	3,741
為替換算調整勘定	6,303	12,156
退職給付に係る調整累計額	84	73
その他の包括利益累計額合計	9,341	15,971
新株予約権	567	506
非支配株主持分	709	765
純資産合計	105,785	117,172
負債純資産合計	167,795	180,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	60,564	66,664
売上原価	44,098	48,495
売上総利益	16,466	18,168
販売費及び一般管理費	11,302	12,141
営業利益	5,164	6,027
営業外収益		
受取利息	143	382
受取配当金	84	95
為替差益	1,457	1,100
雇用調整助成金	14	—
補助金収入	136	389
その他	134	85
営業外収益合計	1,970	2,052
営業外費用		
支払利息	17	27
その他	52	15
営業外費用合計	69	42
経常利益	7,065	8,037
特別利益		
固定資産売却益	0	19
特別利益合計	0	19
特別損失		
固定資産処分損	10	6
特別損失合計	10	6
税金等調整前四半期純利益	7,055	8,050
法人税等	1,852	2,265
四半期純利益	5,202	5,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,174	5,757

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,202	5,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	788
為替換算調整勘定	8,258	5,888
退職給付に係る調整額	△8	△10
その他の包括利益合計	8,167	6,666
四半期包括利益	13,369	12,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,293	12,387
非支配株主に係る四半期包括利益	75	63

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,055	8,050
減価償却費	2,531	2,578
固定資産処分損益 (△は益)	10	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	67	38
受取利息及び受取配当金	△227	△477
支払利息	17	27
為替差損益 (△は益)	△1,086	△1,893
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,046	△2,153
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△744	2,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△948	985
未払消費税等の増減額 (△は減少)	107	△76
その他	△133	△240
小計	5,655	8,914
利息及び配当金の受取額	176	427
利息の支払額	△19	△9
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,878	△2,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,934	7,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,497	△2,167
有形固定資産の売却による収入	2	21
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△24	△29
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	50	—
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,639	323
その他	△23	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,853	△1,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,922	△1,032
自己株式の取得による支出	△726	△0
配当金の支払額	△1,073	△1,231
その他	△47	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,770	△2,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,362	2,272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,326	5,306
現金及び現金同等物の期首残高	35,451	34,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,124	39,448

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	35,879	10,567	5,411	4,730	3,536	60,125	178	60,304	—	60,304
その他の収益	—	—	—	—	—	—	260	260	—	260
外部顧客への 売上高	35,879	10,567	5,411	4,730	3,536	60,125	439	60,564	—	60,564
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	15	207	16	2	241	273	514	△514	—
計	35,879	10,582	5,618	4,746	3,538	60,366	712	61,079	△514	60,564
セグメント利益	3,364	314	938	485	552	5,655	264	5,920	△755	5,164

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	42,985	10,424	4,770	4,496	3,549	66,226	170	66,397	—	66,397
その他の収益	—	—	—	—	—	—	266	266	—	266
外部顧客への 売上高	42,985	10,424	4,770	4,496	3,549	66,226	437	66,664	—	66,664
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	41	69	17	5	133	306	439	△439	—
計	42,985	10,466	4,839	4,513	3,554	66,360	743	67,103	△439	66,664
セグメント利益	4,286	588	767	471	403	6,516	217	6,734	△706	6,027

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車両資材……………自動車・鉄道車輛等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システムおよびサブ
ライ、電子機器、シリコンウエーハの成膜加工等、人工衛星
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第2四半期連結累計期間784百万円、当第2四半期連結累計期間733百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。